

エネルギーコストを削減するには？

エネルギーマネジメントシステム (エネマネ・EMS) の導入・活用

エネマネでできること

エネルギー使用状況を見える化し、データを蓄積することで、電気の場合、契約電力を抑えることや、使用方法のムダを分析して使用量を削減するなどのコスト削減ができます。

使用状況の見える化

+

使用方法の分析

▶

コスト削減

エネマネで始める ▶▶

高圧受電の電気料金は、30分単位で算出される平均使用電力（デマンド）の最大値（**最大デマンド**）をもとにした契約電力で基本料金が計算されます。

電気料金計算内訳書

最大需要電力にもとづき当月のご契約電力を決定するお客様のご使用実績

年月分	平成29年8月分					
当月分	41 kW	4	54 kW	28	12	54 kW
29	7	29 kW	3	58 kW	11	38 kW
	6	27 kW	2*	60 kW	10	34 kW
	5	30 kW	1	59 kW	9	40 kW

*印の最大需要電力が当月のご契約電力です。

計算期間		7月8日～8月7日			
料金内訳名		金額 (円)		契約電力・ご使用量等	
常時	常時基本料金	111,780.00		料金対象電力	60kW

上図は、電力会社の請求書の一例ですが、年間の**最大デマンド**が発生した月には「*」印が記載されています。

基本料金はこの「*」月に発生している**最大デマンド**を契約電力として単価 1,863円/kW (※) × **最大デマンド**で計算され、60kWでは111,780円となっています。もし、**最大デマンド**を1kWでも下げることができれば、年間で1,863円 × 12ヶ月 = 22,356円のコストを下げることができます。目標デマンドを決め、エネマネでデマンドを監視し、目標を超えないように対策することで、基本料金を下げていくことができます。

(※) 関西電力の高圧BS(平成29年8月1日時点)の場合

(参考)電気料金体系(高圧電力50~500kWの場合)

$$\text{電気料金} = \left[\begin{array}{l} \text{基本料金} \\ \text{契約電力 (最大デマンド)} \\ \times \\ \text{基本料金単価} \\ \times \\ \text{力率割引・割増} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{l} \text{電力量料金} \\ \text{使用量} \\ \times \\ \text{電力量料金単価} \end{array} \right] \pm \left[\begin{array}{l} \text{燃料費調整額} \\ \text{使用量} \\ \times \\ \text{燃料費調整単価} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{l} \text{再生可能エネルギー} \\ \text{発電促進賦課金} \\ \text{使用量} \\ \times \\ \text{再生可能エネルギー} \\ \text{発電促進賦課金単価} \end{array} \right]$$